

## 愛知県警公安三課による書類送検弾劾！

### 一日も早い職場復帰をかちとるために断固闘う緊急声明

本日、愛知県警公安三課はデッチ上げ「窃盗容疑」について、不当にも名古屋地検に書類送検した。われわれは、この書類送検を満腔の怒りをもって弾劾する。

7月13日、愛知県警公安三課は、今年2月会社が行ったというデッチ上げの刑事告訴を受けて、JR東海労本部事務所、名古屋地本事務所、そして組合員の自宅など7箇所にも及ぶ大規模な家宅捜索を強行した。

われわれは、このかつてない大弾圧をはね返すために、7月13日当日からただちに反撃の闘いを展開してきた。そしてこの「窃盗容疑」が、いかにデッチ上げであり、警察権力と会社が一体となって仕組んだ政治弾圧であることを広く世論に訴えてきた。緊急抗議集会、記者会見、駅頭ビラ配布行動など全組合員が一丸となって反撃の闘いを展開してきた。8月10日には、「就業制限」の撤回と損害賠償を求める訴訟を名古屋地方裁判所に起こし、裁判闘争にも決起した。この組織を挙げた闘いが不当逮捕を許さなかったのである。つまり会社のシナリオ＝窃盗デッチ上げ→刑事告訴→就業制限→逮捕→懲戒解雇という当初の狙いを打ち砕いてきたのである。

このデッチ上げ「窃盗容疑」は、会社からの告訴を受けた所轄の中村署ではなく、愛知県警公安三課が直接捜査の指揮をとることに端的に示されるように、その狙い・本質は明らかである。まさに7月17日の「えん罪JR浦和電車区事件」第一審判決を意識した弾圧である。平和を守り、戦争に反対するJR総連を破壊するために、過激派・テロリストキャンペーンを繰り返した2002年以降の一連の政治弾圧であることは明らかだ。

そしてまた、本日8月30日、JR東日本は美世志会6名に対して、有罪判決を理由に「懲戒解雇処分」を発令した。まさにこの「解雇処分」と軌を一にして愛知県警公安三課は書類送検したのである。

これらデッチ上げ「窃盗容疑」・書類送検や美世志会への不当判決・不当解雇攻撃は、JR総連を「不法者」「テロリスト集団」に仕立て上げ、最終的に解体し、美しい国＝戦争のできる国へと一気に突き進まんがための策動に他ならない。

われわれは、一切の弾圧を跳ねのけて闘う。主任レポートをはじめとした、新たな労務管理攻撃を打ち破るための職場闘争を断固推し進める。

就業制限撤回・早期職場復帰を勝ち取るためにわがJR東海労は闘う！

2007年8月30日

JR東海労働組合  
中央闘争委員会